免許状教科	中学校1種(社会)・高等学校1種(地	理歴史・公民・	商業)
			教職科目
科目名	カリキュラム論	科目分類	経済学科 ■必修 □選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Curriculum	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
	development	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
ふりがな	うらの ひろし	修得単位	2 単位 ■対面のみ □遠隔のみ
担当者名	浦野弘	実施方法	□対面・遠隔併用
授業のテーマ	中学校や高等学校における教員としての教育課程を編成する力量形成の基礎を学ぶ。		
到達目標	1)学校における教育課程の位置付けやその機能的役割について例を挙げて説明できる。 2)わが国の教育課程の変遷を説明できると共に、近年の動向を事例を挙げて解説できる。 3)学校において教育課程を編成・実施・評価・改善するための基本的な視点を事例を挙げて解説できる。 中学校ならびに高等学校の教育課程(カリキュラム)について、その意義と目的について理解し、教		
授業概要		習指導要領の中心な知識・理論を理	的な内容について歴史的変遷をふまえなが 理解し、今後、教育改革の諸動向や地域の実
授業計画			
第1回 自己紹介、オリエンテーション			
第2回 学ぶとは、教育の目的は			
第3回 教育課程、カリキュラムとは 第4回 なぜ、教育課程が必要か:新学習指導要領から考える			
第5回 教育課程の変遷①明治~戦前			
第6回 教育課程の変遷②戦後〜昭和期			
第7回 教育課程の変遷③平成・令和期			
第8回 新学習指導要領が求めるも			
第9回 各教科、領域、総合的な学習等の固有な目標と指導計画 第10回 教材、教具、教科用図書の役割			
第11回 教育課程を構築するための思想的基盤			
第12回 教育課程の構造と編成の原理			
第13回 教育課程の評価と改善、学校評価制度、カリキュラム・マネジメント			
第14回 学校・家庭・地域との連携、潜在的カリキュラム			
第15回 初任者のクラス担任として学校教育目標から教育課程を考える 第16回 試験			
24 TO EN ! IL ANY	1. 授業前には教科書の該当箇所に必ず目を通	<u></u>	
授業時間外の 学習			
・ 新科書を必ず購入し、講義時には塩余オステレ		<u>。 知り C4 Vで11 ノ C C M*イバック・フ4 V み 7 o</u>	
履修条件 受講のルール	(未購入のときは上記予習ができていないと見なされ、受講することができません)。 ・配付あるいはポータルサイトにある資料は、講義時には忘れずに持参するようにしてください。		
	①田中耕治他(2023)『新しい時代の教育課程	星 <u>[第5版]</u> 』有勢	斐閣(第4版は不可)
テキスト	②文部科学省(2020) 『中学校学習指導要領 ③文部科学省(2019) 『高等学校学習指導要領		
参考文献・資料	講義の際に紹介あるいは、配付します。		
成績評価の方法	・宿題等のレポート(30%)と、最終に筆記試験(60%)を課します。また、毎時間求められる授業内容に関するコメントや、講義中の演習・作業への参加度(10%)も加味し、総合的に判断します。 ・宿題やレポート課題は講義内で指示をします。		
MANUSCH I IIM CAN INC.	・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	授業終了後		
成績評価の基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		
学生への メッセージ	間に次時に向けての宿題(課題)が出ます。そ 「授業時間外の学習」の「1」に示す予習を 能性もあります。課題を行ってくると、講義	されを忘れずに実 と必ず行ってくだ 食内容の理解度が	ごさい。ゼロの場合には、受講が出来ない可 ぶ上がります。また、課題を元に、議論をす
	る機会を設ける予定ですので、その際の積極的な参加を期待しています。		